

平成30年度

第2回 箕郷地域振興協議会 次第

日 時 : 平成31年1月21日(月)
午後1時30分～
場 所 : 箕郷支所3階 第5会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- (1) 箕郷地域に関わる事業報告について

- (2) 箕郷地域のまちづくりに関する意見について

- (3) 高崎市第6次総合計画・箕郷地域(案)の概要について

4 連絡事項

5 閉 会

<配布資料>

資料1 箕郷地域に関わる事業報告一覧

資料2 箕郷地域のまちづくりに関する意見一覧

資料3 高崎市第6次総合計画(案)

参考資料 平成29年度高崎市決算の概要について

箕郷地域に関わる事業報告一覧

ページ	事業名	所属 (支所)
1～3	箕輪城跡保存整備事業	教育部文化財保護課 (箕郷支所地域振興課)
4	箕輪小学校校舎建設事業	教育部教育総務課 (箕郷支所地域振興課)
5	箕郷地域住民センター設置事業	総務部企画調整課 (箕郷支所地域振興課)
6～7	みさと芝桜公園常設トイレ整備事業	商工観光部観光課 (箕郷支所産業課)
8～9	箕郷第五保育園改築事業	福祉部保育課 (箕郷支所市民福祉課)

箕郷地域に関わる事業報告書

平成30年10月31日現在

事業名	箕輪城跡保存整備事業	所属 (支所)	教育部 文化財保護課 (箕郷支所地域振興課)
実施期間	平成 6 年度～全期	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

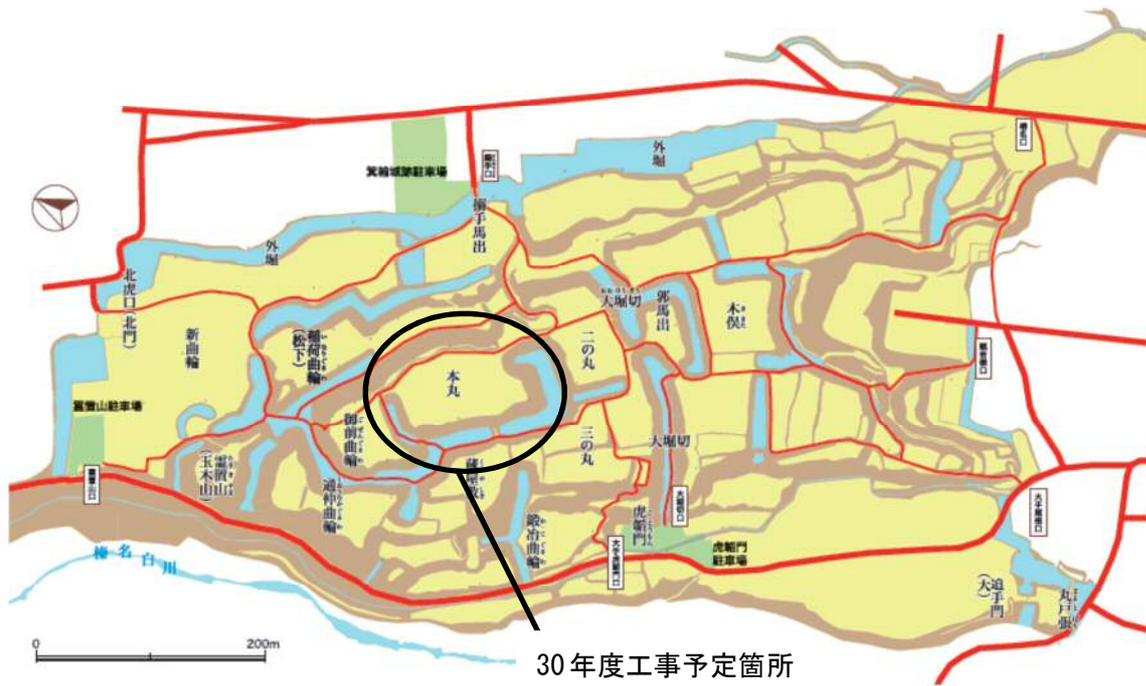
対象		
実施目的	具体的手段	その他
国指定史跡箕輪城跡を適切に保存・管理するとともに、市民共有の文化的・歴史的遺産として活用を図る。	市民共有の文化的・歴史的遺産である箕輪城跡を後世に伝えて行くとともに、史跡公園として広く活用を図るため、整備を行う。	史跡指定面積 約 19ha 昭和 62 年度 史跡指定 平成 5 年度～ 公有地化 平成 15 年度 基本計画策定 平成 19 年度 発掘調査報告 平成 21 年度 基本設計 平成 23 年度～ 整備工事

【事業実績】

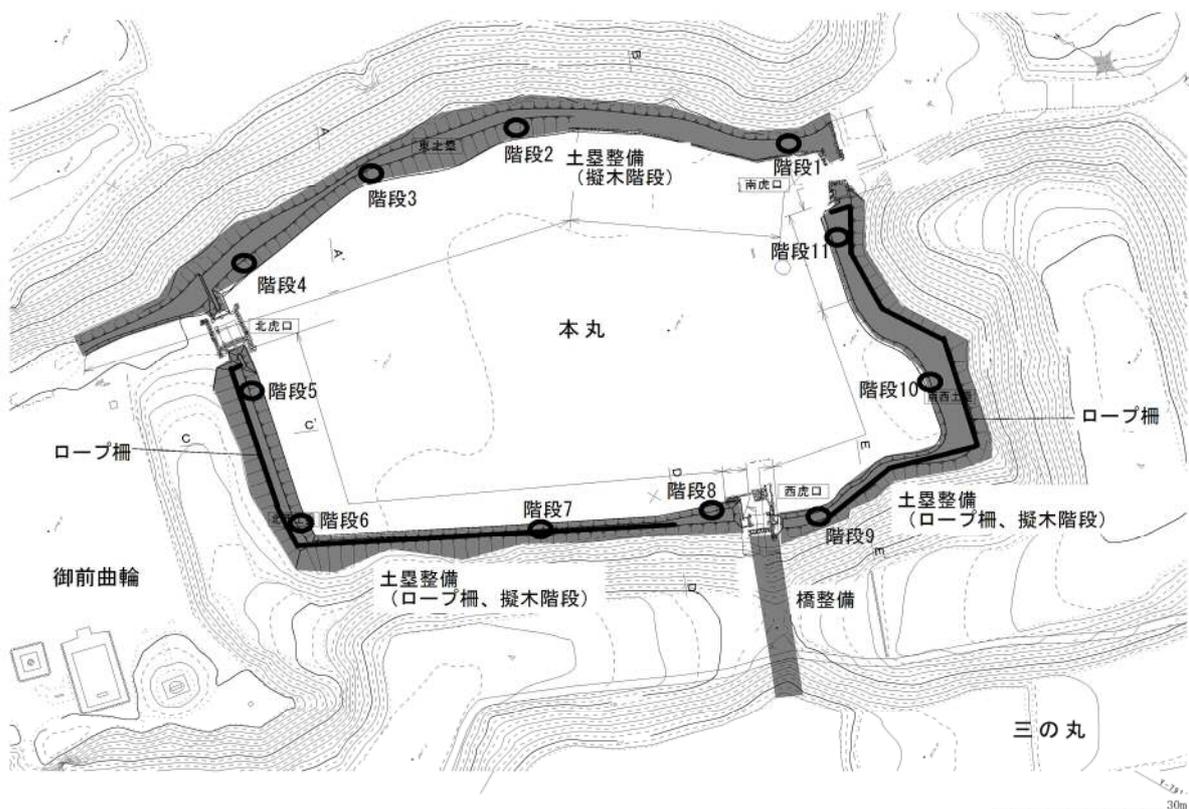
区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成29年度事業実績
合計	53,289	43,964	<ul style="list-style-type: none"> ・本丸地区整備工事 土塁復元 ・掲示板設置工事（搦手口駐車場）
国	23,799	18,868	
県	7,139	2,032	
地方債			
その他	10,000	10,000	
一般	12,351	13,064	

【事業進捗状況】

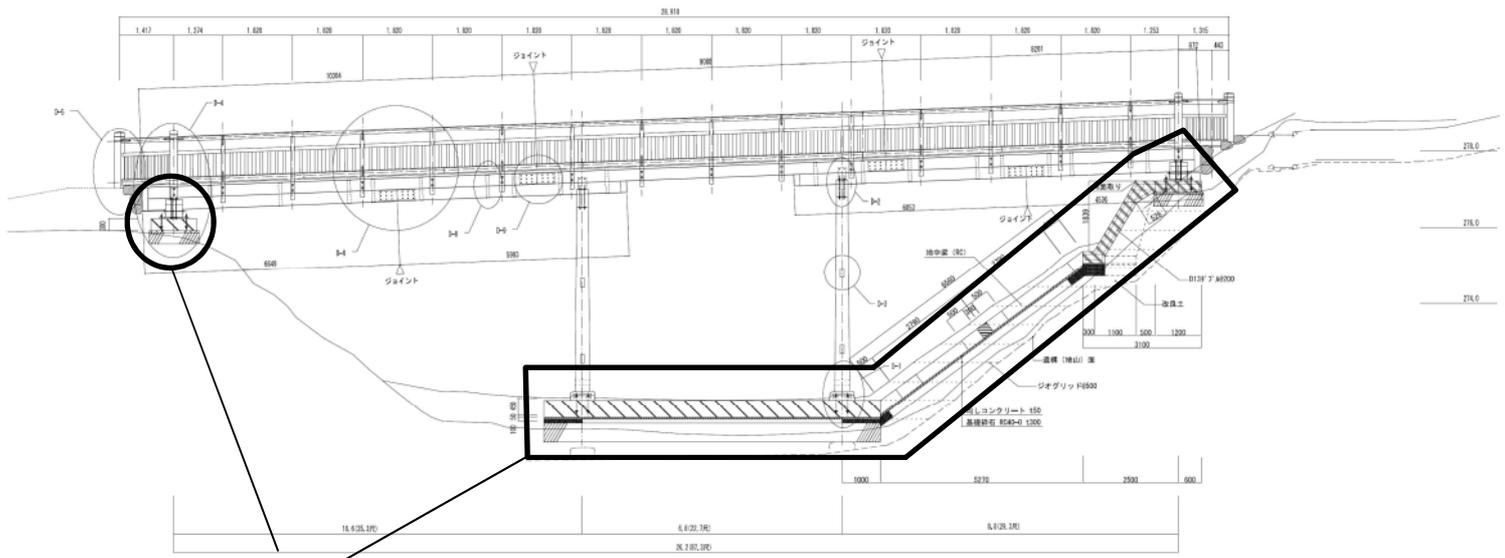
区分 (千円)	当初 予算額	平成30年度事業進捗状況
合計	53,391	<ul style="list-style-type: none"> ・本丸地区整備工事(工期：平成30年12月4日～平成31年3月15日) 木橋基礎工事 擬木階段設置工事(土塁)
国	23,568	
県	7,070	
地方債		
その他	10,485	
一般	12,268	



平成 30 年度工事予定箇所位置図

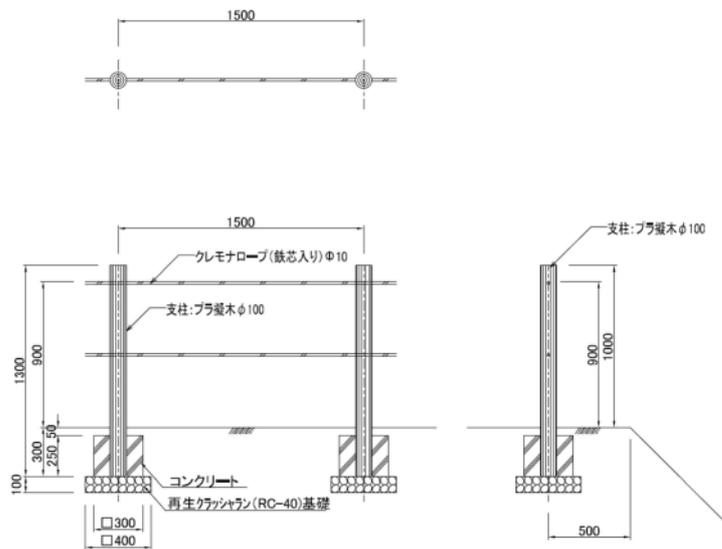


本丸地区工事予定箇所詳細位置図



平成 30 年度工事予定箇所（基礎部分のみ）

本丸・葺屋敷木橋整備工事詳細図



本丸土塁整備(ロープ柵)工事詳細図

箕郷地域に関わる事業報告書

平成30年10月31日現在

事業名	箕輪小学校校舎建設事業	所属 (支所)	教育部 教育総務課 (箕郷支所地域振興課)
実施期間	平成 25 年度～平成 32 年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象			
実施目的	具体的手段	そ の 他	
児童が心身ともに健全でゆとりある学校生活を送るため、快適な環境を維持することを目的とする。 また、学校施設は災害時に避難場所となることから、安全性の確保を図る。	耐力度調査に基づき、校舎の改築を実施する。		

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成29年度事業実績
合計	229,174	201,600	・木材調達業務委託 ・仮設校舎借上 ・校舎建設等工事
国	25,128	34,659	
県			
地方債	59,600	38,400	
その他			
一般	144,446	128,541	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	平成30年度事業進捗状況
合計	809,016	・木材調達業務委託 (第2期工事分) ・仮設校舎借上 ・校舎建設等工事 (第1期工事) 建築・電気設備・機械設備工事 工期：平成30年12月28日まで その他附帯工事 ・プール建設工事 建築・電気設備・機械設備工事 工期：平成31年6月7日まで その他附帯工事
国	194,616	
県		
地方債	422,500	
その他		
一般	191,900	

箕郷地域に関わる事業報告書

平成30年10月31日現在

事業名	箕郷地域住民センター設置事業	所属 (支所)	総務部 企画調整課 (箕郷支所地域振興課)
実施期間	平成 20 年度～全期	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象			
実施目的	具体的手段	そ の 他	
地域住民のコミュニティー活動の拠点となる住民センターを整備することにより、市民参加と地域づくりの推進を図る。	防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、地区集会所を整備する。		

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成29年度事業実績
合計	53,098	52,734	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東区地区集会所解体工事（木造平屋建て） ・ 東区地区集会所建設工事（木造平屋建て）
国	47,700	47,305	
県			
地方債			
その他			
一般	5,398	5,429	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	平成30年度事業進捗状況
合計	6,431	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生原中区地区集会所用地測量委託（完了） ・ 生原中区地区集会所設計委託（平成31年1月31日まで）
国	5,300	
県		
地方債		
その他		
一般	1,131	

箕郷地域に関わる事業報告書

平成30年10月31日現在

事業名	みさと芝桜公園常設トイレ整備事業	所属 (支所)	商工観光部 観光課 (箕郷支所産業課)
実施期間	平成 29 年度～平成 30 年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	観光客及び維持管理作業員		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
みさと芝桜公園入園者が園内を快適に散策するために、常設トイレの設置を行い環境の整備を行う。	防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、みさと芝桜公園の常設トイレを整備する。		

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成29年度事業実績
合計	3,700	2,707	<ul style="list-style-type: none"> ・みさと芝桜公園 常設トイレ建設工事地質調査業務委託 ・みさと芝桜公園 常設トイレ設計業務委託
国	2,960	2,603	
県			
地方債			
その他			
一般	740	104	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	平成30年度事業進捗状況
合計	39,000	<ul style="list-style-type: none"> ・みさと芝桜公園 常設トイレ建設工事（木造平屋建て）
国	38,000	
県		
地方債		
その他		
一般	1,000	

芝桜公園常設トイレ完成写真



外観



男子トイレ



女子トイレ



女子トイレ 洗面台



多目的トイレ



多目的トイレ
ユニバーサルシート

箕郷地域に関わる事業報告書

平成30年10月31日現在

事業名	箕郷第五保育園改築事業	所属 (支所)	福祉部 保育課 (箕郷支所市民福祉課)
実施期間	平成 29 年度～平成 32 年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象	実施目的	具体的手段	そ の 他
	昭和54年に建設された園舎について、老朽化が進んでいることから、通所児童に対する安全で快適な保育環境を確保するため、全面的な改築を実施するもの。	現在の敷地内において、園舎改築を実施する。	

【事業実績】

区分 (千円)	当初 予算額	決算額	平成29年度事業実績
合計	18,800	7,293	<ul style="list-style-type: none"> ・設計委託 ・地質調査委託
国			
県			
地方債			
その他			
一般	18,800	7,293	

【事業進捗状況】

区分 (千円)	当初 予算額	平成30年度事業進捗状況
合計	246,489	<ul style="list-style-type: none"> ・設計委託（繰越して実施） ・仮設園舎借上及び設置（2020年1月まで） ・旧園舎解体工事 ・建設等工事（2019年12月まで）
国		
県		
地方債	189,000	
その他		
一般	57,489	

箕郷第五保育園改築事業



旧園舎（正面から）



旧園舎（南西から）



旧園舎解体後（南東から）



旧園舎解体後（南西から）



仮設園舎（正面から）



仮設園舎（東から）

箕郷地域のまちづくりに関する意見一覧

箕郷支所 地域振興課

■箕郷地域のまちづくりに関する意見〔平成31年1月21日開催〕

内容区分	意見	回答
ウォーキングコースの設定について	<p>健康づくりのため、高齢者を中心にウォーキングを行う人が増えている。昨年、箕郷地域では鳴沢湖を一周できる遊歩道が開通したが、このように地域内を安全に歩行できるウォーキングコースを設定し、所々に休憩ポイントとしてベンチを設置することを検討してほしい。</p>	<p>ウォーキングコースについては、各々の住民が自分の体力等により、距離や地形、交通事情などを考慮し、さまざまなコースを設定していると思われる。ウォーキングは、健康づくりの視点だけではなく、自然に触れたり、歴史遺産を巡るといった町歩きの要素が加われば、コースの魅力も増し、地域外からの来訪者も期待できることから、今後、検討していきたいと考えている。</p> <p>一例として、今年、鳴沢湖を一周できる遊歩道が整備されたことを受け、既にこの遊歩道を活用した自然観察会やウォーキングのイベントが開催されるようになっている。</p>
箕郷地域を訪れる人のための町歩きパンフレットの作成について	<p>近年、箕輪城跡や鳴沢湖が整備され、市内外から箕郷地域を訪れる人が増加している。そこで、箕輪城跡や鳴沢湖を訪れた人に、周辺の神社仏閣や文化財などに足を延ばしてもらえるよう、「町歩きパンフレット」の作成を検討してみてもどうか。</p>	<p>箕郷支所では、梅まつりや芝桜まつりの時期に合わせて観光パンフレットを作成し、来訪者への積極的なPRに努めている。</p> <p>「町歩きパンフレット」と題して、箕輪城跡周辺の文化財や歴史資源・地域資源を生かした、箕輪城跡を含めた城下町エリアのパンフレットの作成は可能であると考えている。</p> <p>パンフレットの作成には、歴史背景も含めて、地域をよく知る地元の理解や協力が必須であるため、地域住民の意見を聞きながら検討していきたいと考えている。</p>

■箕郷地域のまちづくりに関する意見〔平成31年1月21日開催〕

内容区分	意見	回答
<p>国指定史跡・箕輪城跡の整備について</p>	<p>現在、国指定史跡箕輪城跡では、郭馬出西虎口門が復元され、引き続き本丸の整備が行われているが、今後も整備を進めていってほしい。</p> <p>また、箕輪城跡本丸は、「箕輪城まつり」などの主会場となっているが、今後も会場として使用することについて特段の配慮をしてほしい。</p>	<p>箕輪城は現在、本丸の整備に着手しており、本丸の整備を終了させた後、その他の部分を含め、計画的に管理していきたいと考えている。</p> <p>これまで箕輪城まつりに配慮し、まつり終了後に工事を実施してきたが、今後は工事の状況により会場を二ノ丸等に変更していただくこともありうる。その場合は、事前に関係者に説明するなど、できる限りの配慮をしていきたいと考えている。</p>
	<p>首都圏からの高い交通の利便性のため、近年、外国人観光客が高崎にも増えていると認識している。外国人観光客に、日本百名城である箕輪城をよりアピールできるような多言語マップの作成はできないか。</p> <p>また、箕輪城の歴史を手軽に体験できるVR（バーチャルリアリティ）などのプロモーションを検討してほしい。</p>	<p>全国的に史跡等への外国人観光客が増加しており、パンフレット等の多言語化が求められている現状は認識している。</p> <p>また、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）の技術を使った史跡の活用例もあることから、箕輪城跡においても、解説・案内等の多言語化やVR・ARの活用について、今後研究していきたいと考えている。</p>

■箕郷地域のまちづくりに関する意見〔平成31年1月21日開催〕

内容区分	意見	回答
<p>箕郷ふれあい公園野外ステージの拡張について</p>	<p>箕郷ふれあい公園野外ステージは、箕郷地域で唯一の野外施設であり、各種イベントや大会等に数多く利用されているが、ステージ部分が狭く、大人数での使用ができない。今後も恒久的に使い続けていく施設であるため、ステージ部分の拡張をお願いしたい。</p>	<p>野外ステージが設置されている箕郷ふれあい公園芝生広場は、レクリエーションや遊びなどを通じて、人々が交流しあえる場所として位置づけられ、催し物や祭りイベント等に使用され、箕郷地域の地域振興に大きく役立っている。</p> <p>野外ステージ拡張等の整備については、利用におけるさまざまな状況等を考慮しながら、必要に応じて考えていきたい。</p>
<p>消防団員の確保について</p>	<p>全国的な傾向であるが、箕郷地域でも消防団員が減少し、充足率が低下している。現在、実施されている「消防団応援の店」とは別に、市内宿泊施設や市内商店で利用できる割引券の発行など、消防団員への勧誘がしやすい制度を設けられないか。</p> <p>箕郷地域では、町内会単位で自主防災組織の設立が進められているが、地元消防団員との連携が必要となるため、団員のいない町内会の団員確保への支援をお願いしたい。</p>	<p>消防団員の減少に対する確保対策については、本市においても、大変重要であると考えている。「消防団応援の店」は県の事業として昨年度スタートし、当初は県内48店舗、うち高崎市は3店舗であったが、現在は県内228店舗に増え、本市においても、25店舗へ増えてきている。</p> <p>今後も県との協働事業として、消防団を応援する店舗の増加をさらに推進するとともに、本市の消防団協力事業所表示制度の充実や支援策等も十分研究し、団員の確保対策を図っていきたい。</p> <p>箕郷地域で消防団員のいない町内会は7町内会あり、団員のいないこれらの空白町内会の解消は、地域の防災体制確保の観点からも大きな課題であると認識している。今後も、当該町内会の区長と協調しながら、空白町内会の解消に努めていきたいと考えている。</p>

平成29年度高崎市決算の概要について

- 1 平成29年度の「一般会計」と「各特別会計」の決算は下表のとおりとなりました。
 「一般会計」の歳入は、1,644億962万円、歳出は、1,593億364万円で、歳入・歳出の款別構成状況は、2ページ・3ページのグラフのとおりです。
 なお、表中の各金額は万円未満を四捨五入しているため、計数整理の結果、表内で異同を生じることがあります。

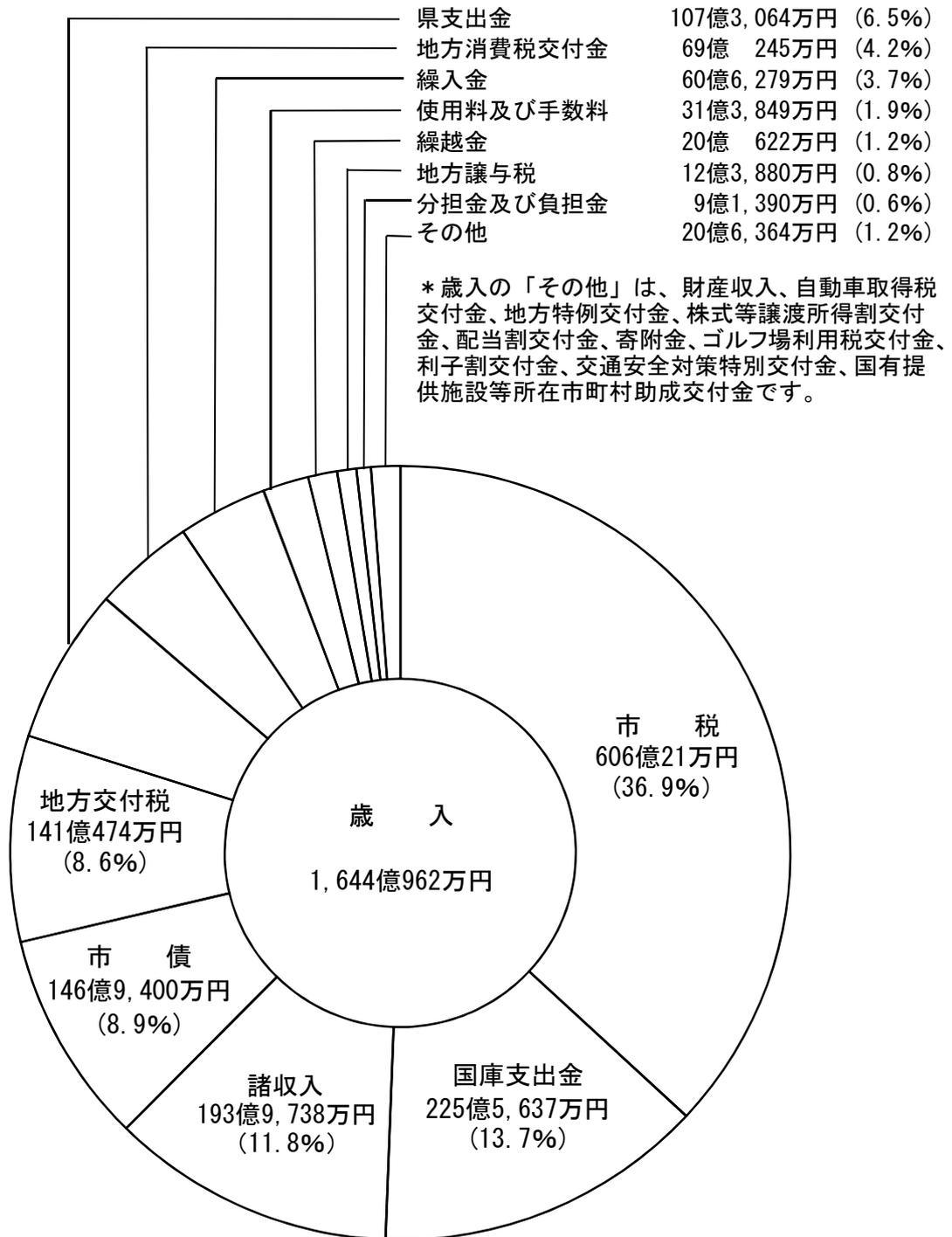
一般会計・各特別会計歳入歳出決算一覧表

(単位 万円)

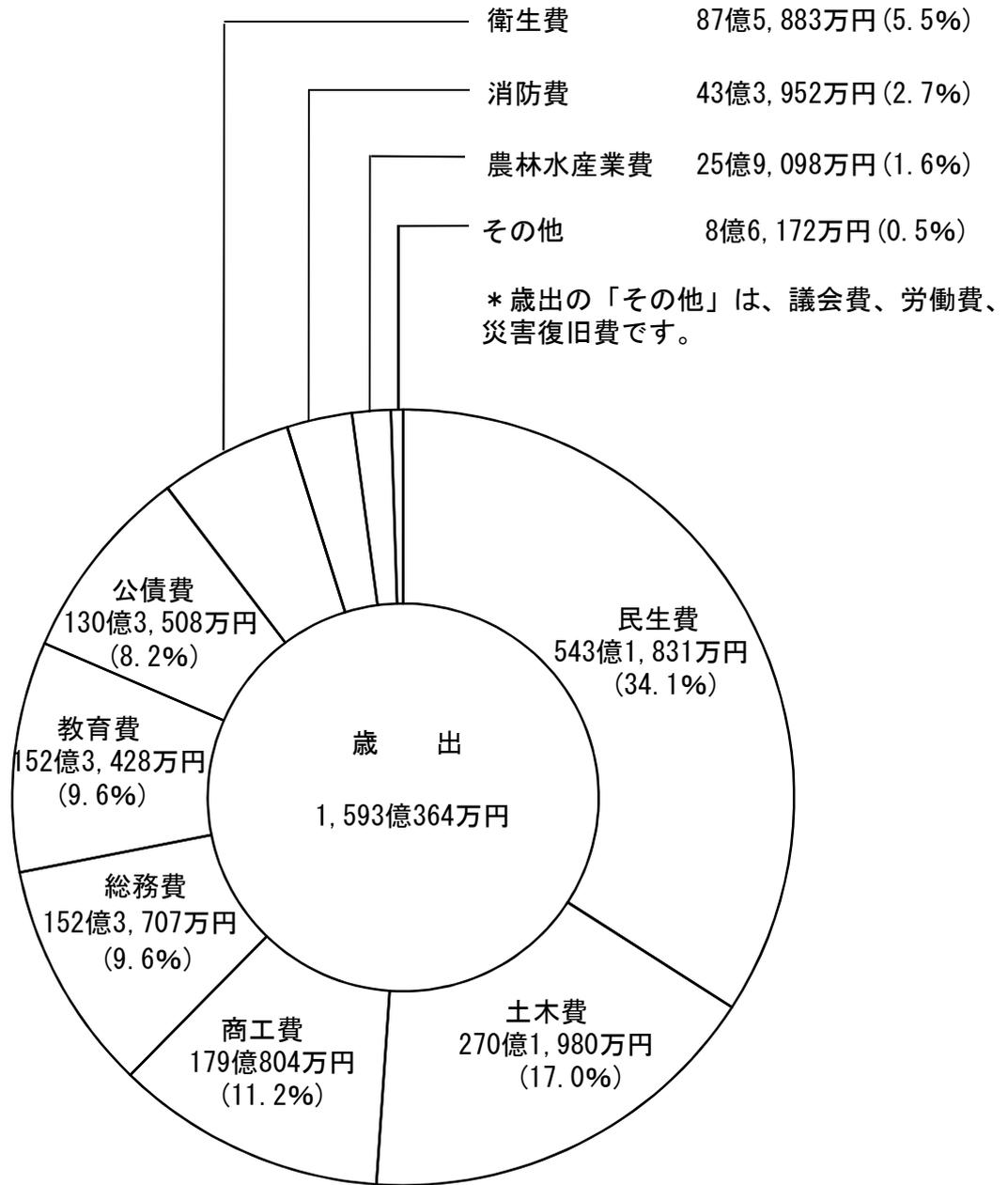
区 分	予 算 額	決 算 額	
		歳 入	歳 出
一 般 会 計	1,683億1,000	1,644億962	1,593億364
特 別 会 計	825億7,055	836億3,330	799億3,564
国民健康保険事業	441億1,795	445億9,284	418億9,213
介護保険	326億2,061	330億922	321億4,287
牛伏ドリームセンター事業	1億2,163	1億1,974	1億795
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	7,372	8,352	4,996
後期高齢者医療	42億3,887	44億1,387	43億7,102
簡易水道事業	1億2,744	1億4,972	1億862
農業集落排水事業	1億6,293	1億6,207	1億6,078
駐車場事業	2億8,913	2億8,404	2億8,403
土地取得事業	8億1,828	8億1,828	8億1,828
合 計	2,508億8,055	2,480億4,292	2,392億3,928

一般会計歳入・歳出決算額の款別構成状況

【歳 入】



【歳 出】



- ◎ 歳入決算額 1,644億962万円 (A)
 歳出決算額 1,593億364万円 (B)
 差引額 (A) - (B) = 51億598万円

※差引額のうち、翌年度へ繰越すべき財源として、繰越明許費繰越額
 11億7,238万円を繰越し、さらに財政調整基金へ31億円積み立て、
 残りの8億3,360万円を翌年度への繰越金としました。

2 普通会計による決算状況

※普通会計とは、他の地方公共団体（県や市町村）などと比較しやすいように、「一般会計」と「特別会計のうち公営事業会計以外の会計」を総合してひとつの会計としてまとめ、全国共通の基準に調整した会計です。

歳 入		(単位 万円)					
区 分	年 度	28年度		29年度			
			構成比 %	伸 率 %		構成比 %	伸 率 %
1	地 方 税	598億7,919	35.9	0.4	606億 21	36.8	1.2
2	地 方 譲 与 税	12億4,021	0.7	△1.2	12億3,880	0.8	△0.1
3	利子割交付金	5,171	0.0	△39.3	9,094	0.1	75.9
4	配当割交付金	1億6,554	0.1	△38.1	2億5,136	0.1	51.8
5	株式等譲渡 所得割交付金	9,657	0.1	△64.2	2億5,779	0.2	167.0
6	地方消費税 交 付 金	64億9,107	3.9	△9.5	69億 245	4.2	6.3
7	ゴルフ場利用 税 交 付 金	1億3,895	0.1	△0.2	1億2,728	0.1	△8.4
8	自動車取得税 交 付 金	2億8,411	0.2	5.7	3億8,591	0.2	35.8
9	国有提供施設 等助成交付金	3,367	0.0	△7.8	3,147	0.0	△6.6
10	地方特例交付金	2億5,747	0.2	5.1	2億7,485	0.2	6.7
11	地方交付税	148億 874	8.9	△4.1	141億 474	8.6	△4.8
	普通交付税	127億2,701	7.6	△3.7	121億5,892	7.4	△4.5
	特別交付税	20億8,173	1.3	△6.7	19億4,582	1.2	△6.5
12	交通安全対策 特別交付金	8,868	0.1	△3.2	8,565	0.0	△3.4
13	分担金・負担金	10億8,140	0.6	△13.3	9億9,004	0.6	△8.4
14	使用料・手数料	31億6,434	1.9	6.1	31億4,870	1.9	△0.5
15	国庫支出金	223億9,509	13.4	12.0	225億9,764	13.7	0.9
16	県支出金	96億9,467	5.8	△7.6	108億3,307	6.6	11.7
17	財産収入	4億 916	0.2	46.3	2億7,235	0.2	△33.4
18	寄 附 金	1億1,827	0.1	△36.3	1億3,824	0.1	16.9
19	繰 入 金	53億2,367	3.2	35.3	60億6,387	3.7	13.9
20	繰 越 金	30億7,511	1.8	△27.9	20億2,738	1.2	△34.1
21	諸 収 入	210億 229	12.6	△11.4	193億3,352	11.8	△7.9
	貸付金元利収入	173億7,313	10.4	△9.4	156億8,276	9.6	△9.7
22	地 方 債	170億5,810	10.2	34.7	146億9,400	8.9	△13.9
	合 計	1,668億5,801	100.0	1.3	1,644億5,025	100.0	△1.4

歳 出

(単位 万円)

区 分	年 度	28年度		29年度			
		構成比	伸 率	構成比	伸 率		
		%	%	%	%		
1 人 件 費		205億6,727	12.7	△0.5	201億9,682	12.7	△1.8
うち職員給		127億8,332	7.9	△0.9	128億 288	8.0	0.2
2 扶 助 費		338億6,151	20.9	6.2	341億6,391	21.4	0.9
3 公 債 費		135億3,805	8.4	1.0	138億5,337	8.7	2.3
4 物 件 費		179億4,806	11.1	0.2	187億2,682	11.7	4.3
5 維 持 補 修 費		14億3,219	0.9	5.0	13億2,761	0.8	△7.3
6 補 助 費 等		175億2,818	10.8	△3.3	170億4,355	10.7	△2.8
7 積 立 金		10億4,621	0.6	△47.2	9億6,589	0.6	△7.7
8 投 資 ・ 出 資 金							
貸 付 金		173億9,434	10.8	△9.4	157億1,020	9.9	△9.7
うち貸付金		173億6,035	10.7	△9.4	156億6,857	9.8	△9.7
9 繰 出 金		114億3,024	7.1	△0.8	115億8,131	7.3	1.3
10 普 通 建 設 事 業 費		270億8,179	16.7	26.3	257億3,812	16.2	△5.0
うち補助事業費		88億8,045	5.5	2.7	130億6,612	8.2	47.1
うち単独事業費		182億 134	11.2	42.1	126億7,200	8.0	△30.4
11 災 害 復 旧 費		279	0.0	45.3	313	0.0	12.4
合 計		1,618億3,063	100.0	2.7	1,593億1,071	100.0	△1.6
歳 入 歳 出 差 引 剩 余 金		50億2,738	—	△29.9	51億3,954	—	2.2

3 平成29年度普通会計による県内他市との比較

区 分	高崎市	前橋市	桐生市	伊勢崎市	太田市	
人口（H30.3.31）（人）	373,674	337,579	113,103	213,031	224,545	
歳入総額（万円）	1,644億5,025	1,428億9,234	456億8,533	755億5,721	806億 730	
歳出総額（万円）	1,593億1,071	1,399億9,640	437億2,836	730億 780	776億1,942	
実質収支（万円）	39億6,716	25億 831	19億 824	22億9,029	24億6,583	
実質収支比率（％）	4.8	3.3	7.3	5.4	4.9	
経常収支比率（％）	94.8	97.3	95.0	95.3	93.8	
地方債現在高（万円）	1,434億5,826	1,554億8,003	354億3,441	683億1,857	687億9,024	
実質公債費比率（％）	6.0	8.4	5.1	5.2	5.5	
将来負担比率（％）	32.5	66.8	9.0	39.7	41.8	
財政力指数	0.853	0.809	0.568	0.836	1.060	
積立金 現在高 （万円）	財政調整基金	72億7,000	70億7,127	42億4,836	51億4,687	96億4,425
	減債基金	13億4,866	8億4,199	2億7,340	10億3,475	17億8,224
	その他	88億6,080	46億2,590	48億7,402	34億2,983	3億1,603

※用語の説明

実質収支	歳入から歳出を差し引いた額を「形式収支」といいますが、この「形式収支」から翌年度へ繰越すべき財源を差し引いた決算額のことをいいます。
実質収支比率	標準財政規模に対する実質収支の割合です。
経常収支比率	地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標です。一般財源収入額のうち経常的な経費に充当される一般財源の割合で、比率が高いほど財政運営が硬直化していると考えられます。
実質公債費比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、市債の元利償還金及びこれに準ずる経費の、標準財政規模に対する比率です。この比率が25%以上になると早期健全化団体、35%以上で財政再生団体となります。
将来負担比率	「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政の健全化を判断する指標の一つで、地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率です。市町村では、350%以上になると財政の早期健全化を図ることとなります。
財政力指数	普通交付税の算定に用いる基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の3ヵ年平均値で、数値が1に近くあるいは1を超えるほど財政力が強いとされています。
財政調整基金	突発的な災害や緊急を要する経費に備えるために設置された基金です。また、決算剰余金が多いときは積み立て、財源不足時に取り崩すという、年度間の調整的な役割も果たします。
減債基金	市債（借金）の償還（返済）の増加に備えるために設置される基金です。公債費が他の経費を圧迫するような場合には、この基金を取崩して公債費に充てます。